

**【ウォーレン・バフェットから学ぶ「投資」と「投機」の違いとは？】  
(仮想通貨でも応用可能な考え方です)**

どうもゆうです！

読者さん、こんにちは！！

さてさて、今日は「投資と投機の違い」について考えたいと思います。

なんとなく「投資と投機って違うよな」というのは私たちは  
分かっていますが

それがいまいち分かっていない人も多いと思います。

それで、私ゆうなんかは投資と投機両方やってるんですけど  
最近「投資」のほうにシフトしているんですね。

それで「投資とは何か？」について今日はウォーレン・バフェットの  
名言から考えて行きたいと思います。

基本的には株も仮想通貨もこの考え方を元にやったら  
普通にお金増えやすいと思います。



一般の投資家とバフェットを分ける大きな違いであるのですね。

バフェットこそが「投資」家なわけです。

お金を株とか仮想通貨とかFXに投じるにしても、

やはり投機的なアプローチもあれば投資家的なアプローチも

あるわけですね。

それでおそらく大多数の99%がやってるのが「投機」なわけです。

ここでいかに私たちは「投資」家になれるか？

ってのが長期的に大事になります。

それで今日はその投資家としての考え方を書いていきたいと思うわけですが

やはり投資家としての考え方はバフェットに学ぶのが一番だ

と私は思ってるわけですね。

私なんかも長期的に「投資」をやってきて、そこで資産は

増えてきたのだけど、

やはり根本の考え方はバフェットの真似をしているので

彼の思想は大事だな～って最近思うわけですね。

それでバフェットというのは株式投資家ではあるのだけど

実は彼の考え方って仮想通貨にも当然応用可能だと私は見てるんですね。

むしろ、仮想通貨で、バフェットの考え方は生きると思います。

それで彼の投資思想というのが重要になる。

それでバフェットは「偉大な企業に投資しなさい」というわけですけど

これは仮想通貨なんかでも偉大な開発者、偉大な技術なんか

置き換えられるわけですが

この「偉大な企業」に投資するのがまず大事になるわけです。

それで「偉大な企業とは何か？」というところがこれまた重要なんだけど

それは今後25年とか30年、ずっと偉大であること。

これがバフェットの偉大な企業の定義です。

バフェットというのは長期投資家なわけですが、

ここで素晴らしい収益をあげる企業っていうのは多いわけですが

その企業(暗号通貨)が10年先も続いているか輝いているか？

っていうことを考えると可能性はなかなか低いわけです。

それでバフェットなんかはITバブルの真っ只中ですね、

まさにみんなが IT株どれがいい??みたいになってるときに、

超アナログ的なデイリークイーンという企業を買収してるわけです。

このデイリークイーンを買収したバフェットが語っていたのは

「デイリークイーンのア이스キャンディーが10年後に

生き残ってる可能性は

どんなIT株のアプリケーションソフトが10年後に生き残ってるか?

という可能性よりも高いでしょう?

だからアイスクキャンディーのデイリークイーン買うわけです」

ということなんですね。

バフェットの投資基準というのはそれがどんな分野であっても、

「生活になくってはならないもの」であり、

そこでお金を出しても買いたいブランドを持つ企業であることです。

そこで「信頼できて、10年、20年、50年と経過しても

みんながほしいと思うものを作ってるかどうか??」

これがバフェットの投資基準なわけですね。

ちなみに私ゆうなんかは色々な株を買ってるけど基本的にはもうこの基準でしか選んでいないわけですね。

仮想通貨なんかだとイーサリアムとかLISKなんかは上記の基準だと思ってるので、今イーサはかなり下がってるけどそれでも買い増ししたりしてます。

それでバフェットが軽蔑する、愚の骨頂と考えるのが10ドルが11ドルになったら売って50ドルが53ドルになったらこれまた売って、

ここで短期で利益を稼ぐ投資家、これは最悪という考え方をします。

バフェットの場合は株価とか今で言うなら仮想通貨の価格とかそういうものではなくて、

資産価値をより見るし、さらに資産価値より成長価値を見るわけですね。

それでバフェットで有名なのがコカコーラ株だと思います。

今の私たちも世界各国でコーラは飲んでるわけですがまさにバフェットが株主なのがコカコーラです。

それでコカコーラを世界的なブランドに育てたのが

ロバート・ラッドラフって人です。

父親が1919年に借金だらけで知名度もなかった  
同社を買収したんですね。

第2次大戦中なんかはコストを度外視して、  
そこで多くの戦地に工場を立てて

それで戦場兵士なんかはどこにいても5セントでコーラを  
かえるようにしたのです。

そこである日物語りが生まれるんです。

ある兵士が戦争でなんとか命をとりとめて、そこでまずほしがったのが  
コーラだったと。

そして軍産複合体の危険性を言い出した大統領として  
アイゼンハワー大統領が有名だけでも

アイゼンハワーも当時欲しいものを聞かれたら  
「俺にコークを持ってきてくれ」と言ったそうです。

これがバフェットが投資しているコカコーラですよ。

当時1919年にコカコーラ株を40ドルで買った人は

その後配当も再投資していれば180万ドルになったわけですが

ここでバフェットは

「大事なことというのは商品そのものが長期間持ちこたえられるか

どうかを考えることだ。

その銘柄を売るか買うか迷うよりも

そっちのほうが意味があるよ」

ということを言ってるわけですね。

それでバフェットが若干軽蔑するのがウォール街の投機家たち

なんだけど

彼らは投「機」家であるから、持った株の値段が上がるまで

1年も待てないわけです。

がここで「投資家」なら1年くらいは普通に持てるわけです。

これはバフェットの師匠がグレアムという人なんだけど

グレアムが言った。

それでバフェットはグレアムよりさらに進んで、



1年どころか永久に持ちたいと考えてるものを買うわけですね。

バフェットが言うのは

「企業を買うのが好きであり、売るのは好きではない。

傘下におさめた企業との関係が一生続けばそれは良いことだ」

ということです。

バフェットは強い競争力(堀)を持ってブランド性をもって

経営者も優秀な企業にしか投資しないわけです。

そしてそんな優良な企業を安く買える機会ってのはあまりないわけで

だから買えたなら本当に一生保有する覚悟で保有していくわけですね。

ただもちろん、ここで長期保有していても

大きな株価の変動があったり(暴落があったり)

あとはもっと魅力的な株が出てきたりなどなど

気持ちを揺るがす出来事も市場というのは多いわけですが

バフェットいわく

「そんなのでぶれるくらいなら投資するな」

なわけです。

「喜んで10年間その株を保有する覚悟、  
気持ちがないのなら、

たった10分でも株を持とうなんて考えないことだ」

これがバフェットの言うことです。

例えばある企業を買ったけど、翌日から株式市場が  
何かのトラブルで長い休みに入って、

そして株の売買ができなくなったとしても、

それは関係ないくらいの意気込みが必要ということです。

その企業が長期にわたって、どれだけの収益をもたらしてくれるか？

ってというのがバフェットの唯一の関心なわけですね！

それで私が思うのはこのバフェットの投資スタイル、思想というのは

仮想通貨なんかも同じじゃないかな??

というのは感じるわけですね。

仮想通貨ではもう大多数が、それこそ12月後半くらいに

日本のテレビなんかに影響されて「投機」した人たちが

「なんか儲かりそうだから」ということでビットコインを買って  
しかもレバレッジ付きで買ってそれで刈り取られてるわけです。

この売買には思想も何もありませんよね。

「暗号通貨でその暗号通貨に関する技術は将来性、成長性がある」

と思って買ってる人なんかほとんどいなかったんだと  
思います。

12月に240万くらいでビットコイン買った人で  
サトシナカモトの論文さえ読んでいない・・・という人が  
実際は大半だったんだと思いますよね。

それでそういう投機は当然のごとく損をする、ということなわけです。

一方、「この暗号通貨の技術とか(堀)、もしくは

この開発者(経営者)の語ってる未来や技術は

将来5年後10年後に社会にとって必須なものになる」

という確信で何かしらの暗号通貨を買ってる人たちってのは

今もホールドして買いましてしているんだと思いますよね。

それで、最終的には勝つ傾向が強いのはやはり後者の「投資」  
をしている人たちなんだろうと思います。

ちなみに私ゆうはイーサリアムやLISKやあとはNEOなんかの  
技術は色々調べた上でこれからの社会に大きな影響を与えるもので  
必須なものだ、と考えてますが

これも 例えばゆうって人が言ってたから買うって人は  
基本的にク,,ソなんです。

これはバフェットも言ってるんだけど

「自分で調べて、自分で考えてそこで確信を持つもの以外は  
買うな」

なんですね。

というのは他人が「これいいよ、あれいいよ」なんて薦めてきたもの  
なんて信念が弱いわけです。

けど、自分で調べて

「この経営者は素晴らしい、そしてこの技術は  
将来大きな需要を生み、そして技術的な堀(優位性)がある」

と確信したものは、まあ仮に相場が下落して暴落したとしても

そこでホールドできるわけですね。

まあ評価額は下がっても、そこでホールドできる。

そして最終的に勝つわけです。

だからバフェットの上の考え方ってのは

株だけにあらず暗号通貨でも、大事なんですね。

それでここが重要なところで、よく日本のネットだと

「ガチホすれば勝つ??? (はあ?)」みたいな内容を見ませんかね。

(はあ?)って書きましたが

これ私本当にそう思っていて、

目的はガチホすることじゃない

~~~~~  
んですよね。

その暗号通貨の技術とかがこれから2020年台の人類に

役立って、それが色々なソリューションを作り上げていき、

例えばイーサリアムなんかがスマートコントラクト技術なんかを

より進めていき、今までめんどくさい手続きなんかを

簡略化してくれる、とか、

そういう未来に対して投資するわけですね。

そういう将来の10年20年経過した後の

成長性、資産性を見込めるから、

だから結果として 長期間ホールドする、

ということになるわけです。

ガチホするのが目的ではなくて

目的はその投資する対象が将来の人類や社会に役立つかどうか？

であるわけですね。

それが役に立つと考えるから、その未来のために保有をしていく

という考え方ですね。

だからそこで価格が下落しようともそれは関係ない

くらいの狂信的な考え方は必要になるんだろうと思います。

だからバフェットの考え方からしたら

「あ～～イーサリアムが半額になった！！

もう評価益が低いから売却(狼狽売り)」

ってのは違うわけですね。

そんなことするくらいなら買うな、というのがバフェットの  
考え方だろうと思います。

それがバフェットの時代は上記、

コカコーラであったし、

アイスクャンディーのデイリークイーンであったわけです。

なので上にバフェットの投資思想を誰にでも分かるように  
簡潔に書きましたが、

これを結局仮想通貨「投資」でやるのは大事ってことですね。

ICOなんかでもやはりそういう考え方が大事になると思います。

それで私なんかは株ではこういう保有の方法をかなり前から  
やっていますが、

株なんかではこれやってるとやはり必然的に？なのか分かりませんが  
やっぱり含み益がどんどん乗って来るんですね。

ちなみに私は株なんかは自分の分からないものは買わない  
とやってるので

必ず現地に行って自分でそのサービスを使ってみて  
しばらく使ってみて、それでようやく買うわけです。

だから買うまで3ヶ月以上かかったりします。

ただ3ヶ月調査しているわけですからそれはもう  
一度買ったなら放さないわけですね。

それでそうすると数ヶ月とかして含み益が乗って来るんですよ。

ただここで含み益が乗ってきたら決済したがるのが人間だけど  
もうそれをしない、一度買ったのだから一生心中する気持ちです。

そこで重要なのは「一途さ」だと思います。

んでそうすると徐々にですね、これが含み益がもっと大き  
くなっていくわけですね。

こうやって徐々にお金というのが増えてくる循環というのが  
あるわけです。



そして思うのがこれが個人投資家がAIなんかでシステム組んでる  
投機家に勝つ唯一の方法なのかもしれません。

というのは機関投資家ってのは決算がありますから  
どうしても数ヶ月単位で利益を決定していかないといけないわけですが

個人投資家というのはそういうのはないわけで  
なんなら10年間含み益伸ばしてもいいわけです。

それが結局一番強いということですよね。

ただ国家というのはそういう投資が嫌ですから早く  
利益確定させて、税金取りたいですから

時にはハッカーを自前で用意して強制利益確定させることもありますし  
(例えば日本政府はNISCで自前のハッカー集団2014年から  
持ってます)

もしくは株で含み益が1億円以上ある人については  
海外移住した瞬間に出国税を課税したりはするわけです。

そういう戦いはあるのだけでも、やはり個人投資家ってのは  
一番強いのがバフェットスタイルなんですね。

なので株も仮想通貨もそうですけど

「10年間持つつもりがないなら10分でさえ持つな」

というバフェットの考え方は大事かなって思いますね。

それで重要なのがその株なり通貨があがる、っていうか、

その企業や暗号通貨の技術がこれからの世界にどういう良い影響を

与えられるのか？その潜在力があるのか？

を自分なりに考えていくことですよね。

これがあれば特に狼狽売りなんかもせずに

多くの人が暴落で騒いでいても、暴騰で騒いでいても

あくまで平常心で資産を増やしていけるわけです。

それで狂信的にその技術がサービスが

これからの世界に必要なだ、ということならば

それは下落してもどんどん買い増してもいいわけです。

それでゼロになるならば見立てが甘かっただけであって

そこではその技術やサービスにほれ込んでるわけですから

買い増しできるわけですね。

このバフェットの投資スタイルが何気にやはり最強なんだろうと  
思いますね。

そしてこれはバフェットの時代は株でありましたが  
仮想通貨ってのも経営者たち(開発者たち)がいて

そこで仕掛ける新しい企業サービスみたいなものなので

このバフェットの考え方は大いに応用可能ですね。

なので仮想通貨投資でも株投資でも、  
それにほれ込めるのかどうか、は大事ですね。

それで惚れこんだものがダメになったらそれは自分の選定が  
ダメだったっていうことでありまして

諦めもつくわけです。

後悔は生まれませんね。

---

要するに、後悔しない人生が大事ということになります。

そして後悔しないためには

「10年間でもその株(暗号通貨)を保有したい」と思えるものを  
保有していくってのが大事です。

そして結局その考え方、思想でやった人たちが  
なんだかんだ2020年台後半に金持ちになっている確率が非常に高い  
わけです。

ということでやはりバフェットから学ぶことは大事ですね！

それでは！！

ゆう

追伸・・・それで、あと1つ言えば

最近の日本のネット検索は有害です。

---

グーグルなんかで検索しても暗号通貨関係で

本当にバフェットの思想を適用して投資している人の

ブログとかは見つからないようになってますね。

ほとんどが投機思想のものばかりで、

投資思想のサイトは見つけるのが難易度高くなってます。

出てくるのは知恵袋、まとめサイト・・・などのサイトばかりで

そこでは正直お金が無い人たちとか言うと失礼だけど

資産があまりない人たちの数十文字の落書きばかりです。

投資でも何でも思想というのは大事で、

上に書いたのはバフェットの思想だけどその思想に沿って

書かれてる文章を沢山見る必要があつて

それを沢山読んでると脳みそがその思想の良い影響を受けて

そういう投資行動が取れるようになるものなんですね。

投資でもバフェットみたいな上の思想があって

~~~~~  
その思想に不思議と資産が乗っかってくるんですよね。  
~~~~~

逆にまとめサイトとか、

投機思想のものばかり見てると脳みそがほんとうに

クルク,,ルパーになっちゃうんです。

最近のネットの検索ではそういう投資家として成長したい人の

需要に応えられないように

なっています。

(昔は違ったけど今のネット検索は本当にどうしようもないサイトばかりで

官公庁とか大企業のうんこサイトばかりヒットするようになってます。

大企業サイトなんかを書いているのはサラリーマンたちであって

彼らは稼げるならばサラリーマンなんてしないで

暇な時間で個人でメルマガなりラインアットで情報発信するはず)

なのでネットの使い方、スマホの使い方も考えるといいと思います。

やはりネット検索がダメになってしまったのが2013年以降なんで

優秀な投資家や起業家の個人媒体であったりとか、

あとはアマゾンなんかの電子書籍なんかをメインで

時間は使ったほうがいいですね。

そっちのほうが読者さんの

収入が上がっていくスマホ、PCの使い方になると

思います。

それで個人的におススメはバフェットや彼の師匠のグレアムの書籍で

これを仮想通貨投資や金地金投資や株投資に当てはめていくと

資産は増えていきますので(相当ずれたことしなければ)

ぜひバフェットの書籍も沢山読者さんが投資に興味あったら

読んでみてくださいね。

極端な話、私が今号で上に書いてる話ってのをちゃんと咀嚼して

実践していけば100%とは言わないけど

かなり高い確率で資産は増えるはずなんで

ぜひバフェットの投資思想なんかも学んでいただければと思います。

お金を稼ぐっていうのは意外にシンプルだったりしますね。

それでは！

ゆう

追伸2・・・あと、1つ言えば

暗号通貨でもいいし、株でもいいけど

結局サービス提供者、開発者が

「どういう世界の悩みを解決しようとしているか？」

を見るといいです。

「悩み」を解決する、そこにソリューションを提供する

ことによってその暗号通貨なり株なりで利益が出るんですね。

そしてその新しい技術はどういう悩みを解決しようとしているのか？

を見るのが大事ですよ。

そしてその悩みを解決できる技術的な優位性、

すなわち他の人がその悩みを解決できるのか、

もしくは彼、その企業しかその悩みを解決できないのか

です。



後者のような悩みの解決＝ソリューションの限定性がその  
企業や開発者に存在していた場合、  
買いです。

そのためにはどうしても市場について詳しくなる必要はあるし  
技術とかその会社の強みを理解していないといけないわけですね。

そしてさらに「優秀な経営者」であることは重要だけど  
そのプロジェクトなり株があったとして、

それが「いつか愚かな経営者」に変わるかもしれません。

しかし「その愚かな経営者であっても」ちゃんと社会に役立つもの、  
需要が見込めるもの、を選ぶ必要があるわけですね。

愚かな経営者であっても必要とされるサービスや技術なら  
それは当然長期で、上がります。

コカコーラは経営者がいくら愚かでも世界中でみんなが飲みたがる  
わけです。

こういうのも見ていくと良いと思いますね。

そう考えると意外に投資は単純と言えますね。

ただ上の認識にたどり着くまでに色々遠回りをする場合が多い  
ということです。

それでは！